

Top Message	環境本部長インタビュー	特集1「第8期富士通グループ環境行動計画」の焦点	特集2 Digital Innovation	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
環境経営	グリーン調達	環境リスク最小化に向けた取り組み	社員への環境教育・啓発活動	社会とのコミュニケーション			

社員への環境教育・啓発活動

環境経営の推進には社員一人ひとりの意識向上と取り組みが不可欠であると考え、様々な環境教育・啓発を継続して実施しています。

包括的な環境教育の実施

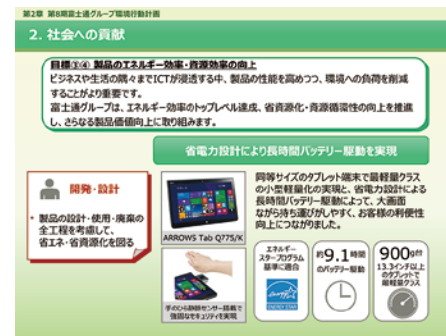
富士通グループでは、3年に1回、全社員を対象に環境e-Learningを実施し、環境経営に関する基本的な理解を促しています。また、新入社員教育、幹部社員教育といった階層別教育のほか、設計開発、営業・SEなど部門に応じた教育も実施しています。さらに、環境業務を担当する社員に対しては、内部監査員教育や廃棄物実務担当者教育などの専門教育を実施しています。

環境教育体系

	新入社員	一般社員	幹部社員	経営層
一般教育	環境e-Learning (1回/3年)			
	階層別教育		階層別教育(新任)	
専門教育 (該当者のみ受講)	部門別教育(随時)			
	内部監査員教育			
	廃棄物実務担当者教育			
啓発	講演会、セミナー、研修会など			
	環境貢献賞・フォトコンテスト			
	Web、SNSによる情報提供			

全グループ社員向けの環境e-Learning

富士通グループは、すべての社員を対象に環境e-Learningを実施しています。これは、グループの環境経営に関する考えを理解してもらい、一人ひとりの業務における主体的な環境配慮への取り組みを促進するとともに、グループの環境行動計画の周知・理解・実践を図ることを目的としたものです。2016年度は、第8期環境行動計画の初年度であることから、新規に環境e-Learningを実施する予定です。



環境e-Learning画面例

社内表彰制度を通じた意識啓発

富士通グループでは、社員の環境意識の向上を図るため、グループ全組織と全社員を対象に、環境に貢献しているビジネスや活動を表彰する「環境貢献賞」と、環境の意識啓発につながる「環境フォトコンテスト」を1995年から毎年継続して実施しています。

2015年度の活動に関する環境貢献賞では、「製品・ソリューション・サービスの提供によるお客様・社会への環境貢献」、「社内の環境負荷低減」、「社会貢献活動」の3つの分野で多

数の応募があり、「四位一体で低炭素化を実現した都市型環境ビル構築」など3件が「環境大賞」として表彰されました。

環境フォトコンテストには世界中の富士通グループ社員から402作品が集まりました。このコンテストは作品の応募や投票を通して、社員がグローバルな視野で環境問題を考えるきっかけとなっています。

「環境大賞」受賞案件

- 四位一体で低炭素化を実現した都市型環境ビル構築**
商業ビルに施設管理システムを導入。事業者、管理者、入居者、建設者が四位一体となり竣工後も省エネ改善を継続的に実施した。
- arrowheadリニューアルにおける電力大幅削減**
東京証券取引所様において、世界最高水準の信頼性、作業能力に加えて消費電力削減を含めた環境貢献と安全性を両立させた。
- 館林データセンター国内最高水準の省エネルギー化への取り組み**
データセンター消費エネルギーの大半を占める、サーバ室冷却のためのエネルギーを低減させる日本初の技術などを開発、実装し国内最高水準の省エネルギー化された建屋を建築した。

環境フォトコンテスト最優秀賞作品「We are NATURE」



「人間も自然の1つなのだ！森を守ろう！」というメッセージが込められています。